

月刊

ひらいマガジン



8月号

◆ 在来工法と金物工法 ◆

～これから在来工法から金物工法へ
切り替えを考えている方へ～

プレカットから
チョット
言わせて!

近年、蟻仕口や鎌継手を用いた"在来軸組工法"から耐震性や欠損を考え、一般的にピン工法と呼ばれる"金物工法"へ切り替えていく工務店様が増えてまいりました。

新たに切り替えを考えている工務店様からよくある質問が、"価格はどれくらい上がるの?"という内容です。ほぼこの質問が9割を占めます。

確かに、予算あつての事なので大事なことです。

ざっくりですが、**20%前後高くなる**と思います。(※条件にもより様々ですが…。試算はしてくださいね!(笑))

しかし価格だけではなく、切り替えていく方は**現場作業や今後を考えた**上での話も多々聞きます。

ということで今回は、これから金物工法へ切り替えをお考えの方に少しでも参考になればと思い、"金物工法のメリット・デメリット"をお話させていただきます。金物工法はどちらかというと、**お施主様よりも工務店様に影響する**ことが多い工法です。

ですので工務店様目線でまとめてみます!

◆メリット◆

○上棟日の現場作業が早い!

- ・鎌継手ではないため、直下率が良いと区画梁がどこからでも組める!
- ・羽子板金物を取り付ける手間が無いので、その分時間が短縮できる! ※柱の金物も付けなくて良いので、上棟後も楽!
- ・揺れが少なく、また建入れも早い!
- ・本当に建て方が早く進むので、お施主さんが見にくると、『もうこんなに出来たのっ!?早いっ!!』とすごく感動していきます!

◆デメリット◆

●材料費が上がる。

- ・集成材でなければならぬ制約がある商品が多い。(※無垢対応の商品もあります。)
- ・柱持たせが出来ないため、材積が増える。
- ・金物が取り付けられる分、荷かさが増すため配送コストが増える。



といった感じです。

まとめますと、**初期費用はかかっても現場作業が減り短縮できる分、現場経費を抑える事ができれば**予算内に近づいてくるのかと思います。

暑い日が続いております。
熱中症に注意しましょう!



株式会社 ひらい プレカット部



木造建物の構造材・羽柄材・合板のプレカット
※特殊加工にも幅広く対応いたします。

〒299-0111 千葉県市原市姉崎736-1

電話 0436-63-5588 Fax 0436-63-1150

ホームページ <http://www.hirai-gnet.co.jp/>